



一般社団法人神奈川オレンジネットワーク・神奈川県高齢福祉課 共催
世界アルツハイマーデー（認知症の日）講演会
令和7年8月24日（金）13：00～16：00



介護保険施設に於ける

意思決定支援の現状と今後の方向性について

～認知症の人の意思決定支援について考える：施設介護の立場から～



神奈川県認知症介護指導者連絡会 会長
社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団
横須賀老人ホーム 理事（兼）所長
佐野 芳彦

はじめに

～介護保険施設の現状～

- ① 感染症対策が優先され閉鎖的な環境が作られた。
- ② 介護職不足を背景として、倫理観を持ったケアが十分できていない。
- ③ 他の施設職員との関りが少なく、各施設が課題の解決策が見いだせない。

今までの介護保険施設は「BPSDケア」に追われてしまい、**本人の意思が軽視**されがちだった

『意思決定支援』の3つの枠組み

①自己決定

本人が自ら意思を表明し、決定する。

②推定意思に基づく決定

本人の過去の価値観から意思を推定し、“この人ならどうしたいか”を支援者が判断。

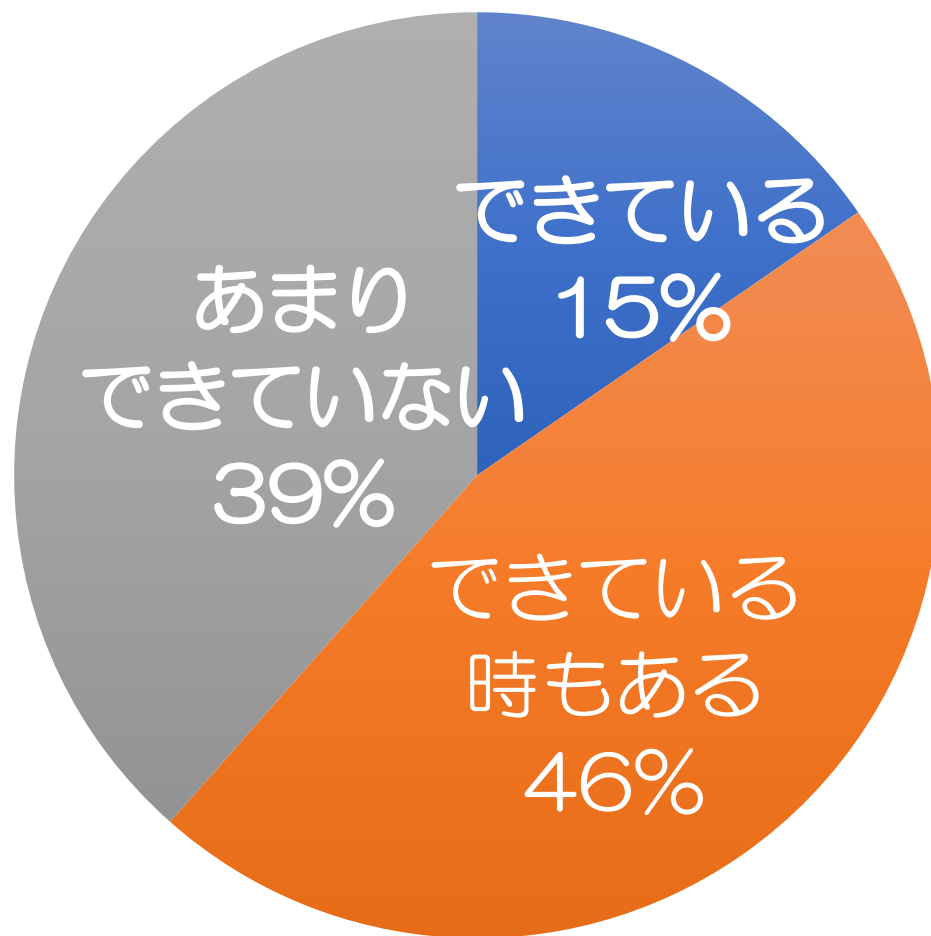
③最善の利益に基づく決定

推定も難しい場合に、本人の安全・尊厳を考慮して支援者が判断。

(介護保険施設に於ける)

入所時の意思決定支援の現状①

Q1) 入所時の意思決定支援の現状を教えてください。



- できている
- できている時もある
- あまりできていない
- できていない

入所時の意思決定支援の現状②

Q2) 入所時の意思決定支援について、できていることは？ (一部紹介)

- ① どのような生活をされていたのか、確認をして、可能なことを実施すること。
- ② 本人が折り合いをつけるまでは入所を決めない。

入所時の意思決定支援の現状③

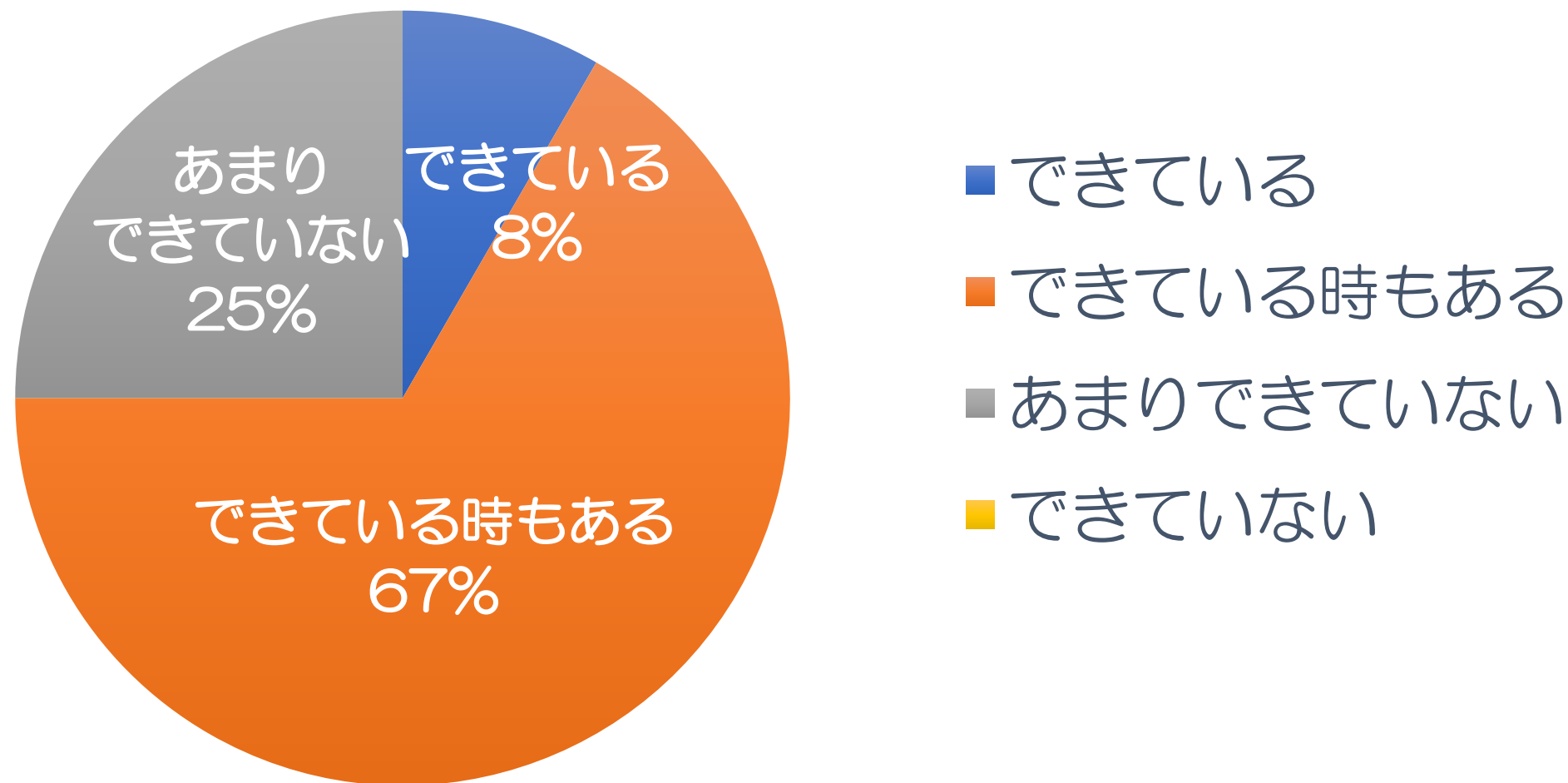
Q3) 入所時の意思決定支援について、できていないことは？(一部紹介)

- ①空きベッドは作ってはならない施設の都合と、家族の意思が優先され、本人の意思は反映されていないと感じる。
- ②入所時は、本人の選択を意識していなかったと思う。施設で生活していただくことを前提に話を進めている。

(介護保険施設に於ける)

日常生活の意思決定支援の現状④

Q4) 日常生活の意思決定支援の現状を教えてください。



日常生活の意思決定支援の現状⑤

Q5) 日常生活の意思決定支援について、できていることは？(一部紹介)

- ① 言葉でのコミュニケーションが難しい方については、本人の表情などを見ながら、どのように感じているのかを読み取るようにしている。
- ② 本人の意思を尊重し無理強いしないようにしている。
(例えば、入浴など嫌がる方には毎日お誘いし、入れるときに入浴していただいている。)
- ③ 日常の小さな意思決定を大事にしている。
(例えば、4種類の中から水分を選択してもらう機会を作るなど)

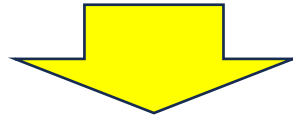
日常生活の意思決定支援の現状⑥

Q6) 日常生活の意思決定支援について、できていないことは？ (一部紹介)

- ①業務に流され、利用者の意思が確認していない場面がある。
- ②ご利用者に声掛けを行っていますが、職員の判断で動いていることが多い。

アンケート結果からみえてきた 意思決定支援の課題

本人が意思を表明する機会
がまだ十分とは言えない。



介護保険施設においては、**本人の意思**
をどう尊重していくかが大きな課題。

事例：意思疎通困難な嘉山さん

- 嘉山さん（仮名） 女性 80代後半
- 要介護4 アルツハイマー型認知症
- 短期記憶障害などの認知機能障害（中核症状）
- 認知症高齢者の日常生活自立度：Ⅳ
（日常生活に支障を来たすような意思疎通の困難さが頻繁に見られる）
- コミュニケーション能力は、
『ブツブツと発しているが、言葉は不明瞭』



嘉山さん

※嘉山さんの事例については、倫理的配慮を行っています。

事例：意思疎通困難な嘉山さん

- 在宅時代は、家族（義弟）と二人暮らし。
- 家族がお仕事が多忙で、日中独居。
昼食は本人が好きな甘い菓子パンが多かった。
- 横須賀老人ホームの居宅介護支援・
訪問介護・短期入所を利用していた。

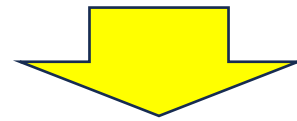


嘉山さん

事例：意思疎通困難な嘉山さん

【入所時の意思決定】

家族は嘉山さんと一緒に暮らしたいと思っていたが、在宅での生活が困難と家族や関係者が判断し、当ホームに入所となった。



入所については嘉山自身の意思決定ではなく
周囲の最善の利益に基づく決定

事例：意思疎通困難な嘉山さん

【私達（施設職員）の困りごと】

嘉山さんとの
意思疎通が難しく、

トイレ誘導の拒否・弄便（便いじり）・盗食

の行動に、どのようなケアを行っていくのか、
困っていた。



施設職員



事例：意思疎通困難な嘉山さん①（トイレ拒否・弄便）

①トイレ拒否・弄便についてのケア現状

嘉山さんのトイレに行きたいというタイミングが掴めず、またそれを考えずに誘導をしていた。



事例：意思疎通困難な嘉山さん①（トイレ拒否・弄便）

②嘉山さんの様子

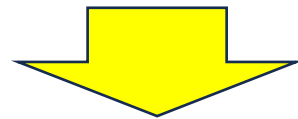
- トイレを見ただけで拒否があった。
- リハビリパンツの中に手を入れ、弄便してしまう。



事例：意思疎通困難な嘉山さん①（トイレ拒否・弄便）

③嘉山さんの意思表示（表現）

- 弄便が見られるときは左手をリハビリパンツの中に入れている。
- トイレに行きたいときはお腹をポンポンと叩く。
- トイレ誘導拒否は、嘉山さんが行きたくない意思表示、また排泄を失敗している時の羞恥心の意思表示と考えられた。



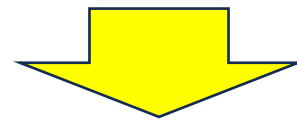
嘉山さんの意思に沿った支援と関係性の構築を目指す



事例：意思疎通困難な嘉山さん①（トイレ拒否・弄便）

④嘉山さんの意思に沿ったケアを行った結果

お腹をポンポンとしている時はトイレに行きたいという意味と捉え、誘導した結果、



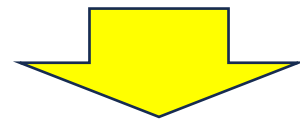
トイレ内で排尿ができるようになった。



事例：意思疎通困難な嘉山さん①（トイレ拒否・弄便）

④嘉山さんの意思に沿ったケアを行った結果

左手でリハビリパンツの中に手を入れたときは排便に行きたいという意味と捉え、誘導した結果、



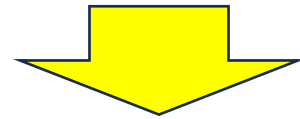
弄便は少なくなった。



事例：意思疎通困難な嘉山さん①（トイレ拒否・弄便）

④嘉山さんの意思に沿ったケアを行った結果

嘉山さんの意思を尊重した
トイレ誘導が増えた結果、



拒否が少なくなった。

事例：意思疎通困難な嘉山さん②（盗食）



①盗食についてのケアの現状

他者の食事を盗食しそうになった際、「ダメ」と止めてしまっている。

事例：意思疎通困難な嘉山さん②（盗食）



②嘉山さんの様子

- 盗食について、私たちが止めに入る対応に拒否反応ある。
- 「丸いもの」との言葉が聞かれる。

事例：意思疎通困難な嘉山さん②（盗食）



③考えられる原因

- 満腹感が得られない。
- 食事の好き嫌いがハッキリしている。
- 食事に集中できない。
- 入所時での家族からの情報提供から、
「丸いもの」とは菓子パンではないだろうか。



事例：意思疎通困難な嘉山さん②（盗食）

④嘉山さんの意思に沿ったケアを行った結果

- 食事に集中できるように、早出しで対応。小分けにして提供
- 完食したら、おかわりをするか、本人に意思確認をして、首を振ったら、一度下膳、頷いた時は、半分小分けにして提供。（自己決定）



集中して召し上がるようになるようになった。



事例：意思疎通困難な嘉山さん②（盗食）

④嘉山さんの意思に沿ったケアを行った結果

家族に入所前に好きだった菓子パン（補食）などを持参していただき、「丸いもの」と発言があったときは、菓子パンを提供。
（推定意思に基づく決定）

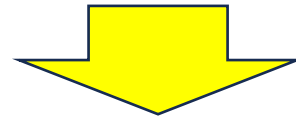


盗食は少なくなった

事例：意思疎通困難な嘉山さん

嘉山さんの意思の気づき

時折、嘉山さんがブツブツ言っていることがあったが、私達は気にも留めていなかった。関わりを通しブツブツが増えてきたので、何を伝えているのか聞いてみると



嘉山さんの意思と思われるような言葉があることに気が付いた。

事例：意思疎通困難な嘉山さん

嘉山さんの意思の気づき

トイレ

嘉山さんは
トイレに行
きたい



丸いもの

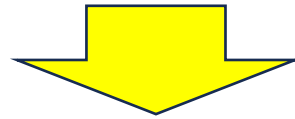
嘉山さんは
菓子パンが
食べたい

(介護保険施設に於ける)

意思決定支援の事例：意思疎通困難な嘉山さん

考察

嘉山さんは「意思疎通困難」と思っていたが、
実は意思を伝えてくれていた。



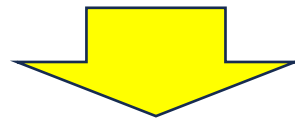
私達は嘉山さんの意思に気づけていなかった。
知ろうとしていなかった。

(介護保険施設に於ける)

意思決定支援の事例：意思疎通困難な嘉山さん

考察

ケアの継続で関係性の構築を目指した結果、自分の意思を伝えてくれることが増えた。



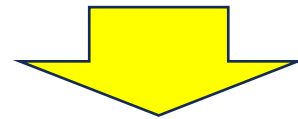
「意思疎通困難」から「意思表示」へ

(介護保険施設に於ける)

意思決定支援の事例：意思疎通困難な嘉山さん

考察

嘉山さんの意思を尊重したケアを行った結果、拒否が少なくなった。



BPSDは
意思決定支援の不成立と捉える

何が意思決定支援を阻んでいたのか？

～事例からの学び～

- ① 嘉山さんの意思がわからない。わかってしなかった。
- ② 嘉山さんの意思決定能力があるかどうかわからない。意思決定能力がないと判断していた。
- ③ 意思決定に対する嘉山さんと施設職員と関係性が希薄で、安心して意思表示ができる状況ではなかった。

『意思決定支援』で大切にしたいこと ～事例からの学び～

- ①本人なりの意思（表現）があることに気づき、意思が形成されるように配慮する。（意思形成支援）。
- ②コミュニケーションの能力への配慮と安心できる環境を作り、形成された意思を適切に表明できるように支援する。（意思表明支援）。
- ③表明された本人の意思を、日常生活や具体的なケア場面に反映させていく（意思実現支援）。

(介護保険施設に於ける)

意思決定支援の**取り組み**

～自施設の取り組み：横須賀老人ホーム～

Kana・L®ブランド

かなえる介護

すべての人に 想いが叶う人生を



社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団

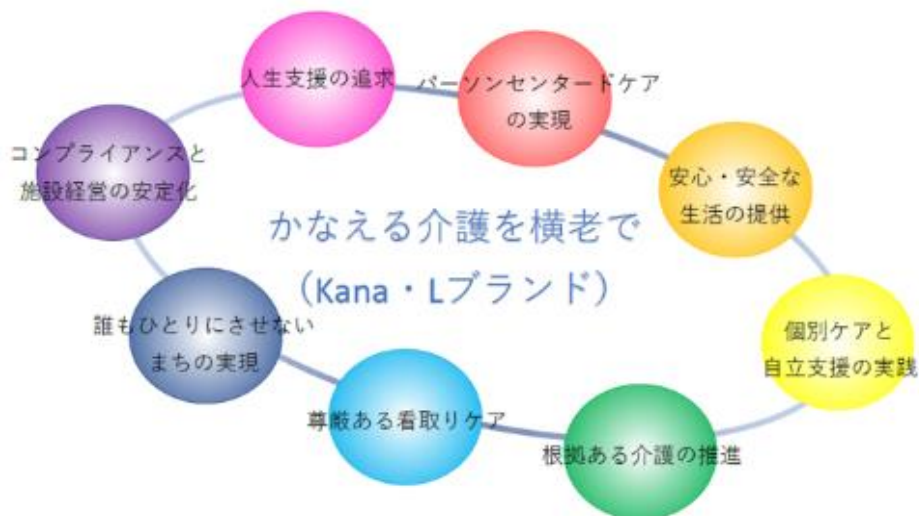
かなえる介護を横老で

令和5年度 介護職員働きやすい職場づくり

「厚生労働大臣 奨励賞」

「かながわベスト介護 セレク20」

3年連続受賞



横須賀老人ホームは、
「**かなえる介護（商標登録済 商願
2023-139768）**」をコン
セプトに、ご利用者の想いを叶える
（意思実現）を目指しています。

（介護保険施設に於ける）意思決定支援の取り組み ～自施設の取り組み：横須賀老人ホーム～

- ①尊厳を守るケア検討委員会 → 意思決定について学び
- ②ケアマネジメント検討委員会 → ご利用者が望む生活の検討。
- ③施設内研修 → 認知症ケア研修
- ④外部研修）認知症介護実践者研修等 → 意思決定支援について学び
- ⑤人財育成担当を配置・人事考課制度 → 人財育成・OJTの強化。

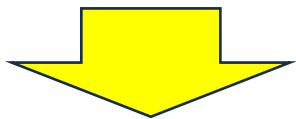
（上記のように自施設で意思決定支援の取り組みを行っているが）

意思決定支援が実現できていないことが多い

（介護保険施設に於ける）意思決定支援の活動①

かながわLTCネットワーク設立：令和6年11月10日

横須賀老人ホームのように
各施設の取り組みだけでは
限界があり、『意思決定
支援』実現の一助となるた
めに



『かながわLTCネットワーク』

【実施団体】
神奈川県認知症介護指導者連絡会

1. 設立経緯
近年、在宅地域においては、認知症の当事者や介護されているご家族、または認知症に関心のある人や医療・介護・福祉の専門職など、誰でも参加して認知症の理解を深めることを目的とした認知症カフェ（オレンジカフェ）や、お酒を飲み交わしながら認知症を語り、交流を促す活動（オレンジバル）が各地で行われている。
しかし介護施設の現状を散見と、新型コロナウイルスによる感染症対策が優先され閉鎖的な環境が作られ、さらに慢性的な介護職不足を背景として、ご利用者に生活のしにくさを感じさせ、職員の情理観を持ったケアが十分できないといったジレンマを生み出していると思われる。
加えて、他事業所の従事者等の関りが少ない状況も否定できず、結果として各施設が不適切ケアや高齢者虐待などの課題の解決策見いだせず、時代に逆行している現状があるのではないかと危惧している。
そのような背景から、①認知症の人や介護職員の願いが叶えられる介護の実践を可能にする知識と技術を獲得する研修会の開催や、②施設職員の悩みを語り合う場を造り、その語りを通して士気を高められるようサポートしていく
③認知症当事者やご家族からご意見をいただく機会を持つ などの適切な活動を通して現状の施設の課題解決の一助となりうるネットワークを立ち上げたいと考えた。

II. 名称
かながわLTCネットワーク
※LTCとはロング・ターム・ケアの略。ロング・ターム・ケアとは、長期ケア施設（特養・老健・療養型・グループホーム等）でのケアを指す。
・本ネットワークは、前文の「設立経緯」にある介護施設の現状があるなか、認知症基本法が策定されたことも踏まえ、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるように、『意思決定支援』『権利擁護』の取り組みを発信していきたい。

- III. 企画・立案・運営
1. 本ネットワークは、神奈川県認知症介護指導者・の構築なき介護推進委員・ネットワーク活動に賛同された人が地域別にグループを構成し趣向に沿った活動を行う
 2. 自分が所属する地域グループの施設介護サービス従事者を対象に下記の 内容などを企画・立案し、運営を行っていく
 3. 企画や運営をネットワークの仲間へ助言、相談を行える体制を整える
相談や実施予定や結果については、メッセージ（SNS）を活用し仲間同士の情報共有を行う
 4. 開催にあたっては、参加希望者が気軽に参加できる環境とする
 - 1）カフェミーティング
 - 2）研修会
 - 3）座談会（バルミーティング）など

また企画にあたっては、認知症介護の質の向上と従事者の社会的地位の向上に寄与する効果が得られ、継続的に実施できる内容となることを期待したい

令和6年11月10日
設立代表者 松浦 英知代
設立協力者 佐野 万穂
栗山 武志

（介護保険施設に於ける）意思決定支援の活動②
～LTCネットワーク（横須賀モデル）：令和7年4月22日～

一般社団法人
神奈川県高齢者福祉施設協議会
横須賀地区福祉施設連絡会
代表 森 弘 樹 様

神奈川県認知症介護指導者連絡会
会長 佐野 芳彦

かながわLTC ネットワーク活動趣旨書（ご相談）

1）神奈川県認知症介護指導者連絡会とは

私たち神奈川県認知症介護指導者連絡会は、神奈川県から委嘱を受けた認知症介護指導者（厚生労働省認定）が、介護サービスで認知症ケアに携わる介護職員の資質の向上及び地位の確立を図るとともに、関係機関との連携を通じて、認知症の人のサービスの向上を図ることを目的に、令和4年7月16日に設立しました。

2）認知症介護指導者とは

認知症介護指導者とは、認知症介護実践研修等について企画・立案への参画や講義・演習・実習の講師を担当、事業所等を中心とした地域の認知症ケアの質の向上に向けたアドバイス等を行う役割も担っています。

3）かながわLTCネットワークとは

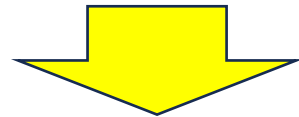
近年、在宅地域においては、認知症の当事者や介護されているご家族、または認知症に関心のある人や医療・介護・福祉の専門職など、誰でも参加して認知症の理解を深めることを目的とした認知症カフェ（オレンジカフェ）や、お酒を酌み交わしながら認知症を語り、交流を深める活動（オレンジバル）が各地で行われています。

しかし介護施設の現状を散見すると、新型コロナウイルスによる感染症対策が優先され閉鎖的な環境が作られ、さらに慢性的な介護職不足を背景として、ご利用者に生活のしにくさを感じさせ、職員の倫理観を持ったケアが十分できないといったジレンマを生み出していると思われます。

加えて、他事業所の従事者との関りが少ない状況も否定できず、結果として各施設が不適切ケアや高齢者虐待などの課題の解決策が見いだせず、時代に逆行している現状があるのではないかと危惧しています。

そのような背景から、本会では①認知症の人や介護職員の願いが叶えられる介護の実践を可能にする知識と技術を獲得する研修会の開催や、②施設職員の悩みを語り合う場を造り、その語りを通して士気を高められるようサポートしていく、③認知症当事者やご家族からご意見をいただく機会を持つなどの適切な活動を通して現状の施設の課題解決の一助となりうるネットワークを立ち上げたいと考えました。かながわLTC ネットワークを神奈川県内各市町村で活動を行う方向で調整を始めています。

『神奈川県高齢者福祉協議会横須賀市地区連絡会』に、協力をいただくことになった。



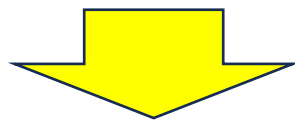
『かながわLTCネットワーク
（横須賀モデル）』

【かながわLTCネットワーク（横須賀モデル）共催】

- ・ 神奈川県高齢者福祉施設協議会横須賀市地区福祉施設連絡会
- ・ 神奈川県認知症介護指導者連絡会

（介護保険施設に於ける）意思決定支援の活動③ ～LTCネットワーク（横須賀モデル）：令和7年7月11日～

「認知症ケアの悩みについて」の意見交換を行った。
合言葉は・・・



『現場職員同士のネットワーク作り、悩みを一緒に乗り越えよう（8施設36名参加）』

令和7年6月9日

かながわ高齢協横須賀地区福祉施設連絡会
会員施設長・事業所長様

一般社団法人
神奈川県高齢者福祉施設協議会
横須賀地区福祉施設連絡会
代表 森 弘 樹

令和7年度 横須賀地区福祉施設連絡会 かながわLTCネットワーク（横須賀モデル） の開催について（ご案内）

かながわ高齢協の会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、この度横須賀地区の会員施設・事業所に勤務する職員等を対象に、認知症ケアの悩みを一緒に乗り越えるために、「かながわLTCネットワーク（横須賀モデル）」を開催致します。
つきましては、貴施設・事業所の職員に周知していただき、多くの方のご参加にご配慮下さいますようお願い致します。

1. 開催日時 令和7年7月11日（金） 17:00～19:00
2. 開催会場 横須賀老人ホーム 5階研修室
3. 内容 (1) 自己紹介
(2) アンケートの共有（認知症ケアの悩み）
(3) 本音トーク
(4) 今後に向けて
4. 受講対象者 介護・看護職員・相談員・栄養士・機能訓練指導員

研修担当 緒方弘美（衣笠ホーム）
樋口洋一（シャローム）
岩崎 剛（横須賀老人ホーム）
鈴木 健之（横須賀老人ホーム）
事務担当 横須賀老人ホーム
嘉山武志・宮崎和久
責任者
神奈川県認知症介護指導者連絡会 会長
佐野 芳彦（横須賀老人ホーム所長）

（介護保険施設に於ける）意思決定支援の活動③

～かながわLTCネットワーク（横須賀モデル）：令和7年7月11日～

Q 本日の研修で、気づきがありましたか？（一部紹介）



悩みを話し
合えること
は、すごく
良いと思っ
た

このような
研修を今後
も続けてほ
しい。



参加者

（介護保険施設に於ける）意思決定支援の活動④
～かながわLTCネットワーク：令和7年7月25日～

第1回施設ケアカフェ ZOOMオンラインにて、 「意思決定支援」と「かな がわLTCネットワーク」の 活動についてお話をした。 （65名参加）

第1回 施設ケアカフェ

ZOOMオンライン開催

7/25 (金)
19:00 ~21:00

日程：7月25日(金) 19:00～21:00

開催：ZOOMオンライン定員100人（参加費無料）

申込：QRコードからお申し込みください

対象：政令市を含む神奈川県内の施設関係者など

共催：一般社団法人神奈川オレンジネットワーク

神奈川県認知症介護指導者連絡会

神奈川県看護指導者会

後援 日本認知症ケア学会

認知症専門士単位認定講座2単位（予定）

内容

■ オープニングメッセージ

稲田 秀樹氏 神奈川オレンジネットワーク代表理事

■ 実践報告①

佐野 芳彦氏 神奈川県認知症介護指導者連絡会会長

認知症になっても自分で決める、その人中心のケア
の実現のために

～かながわ LTC ネットワーク設立までの経緯について～

■ 実践報告②

高橋 雄紀氏 神奈川県看護指導者会副会長

本当に求められる施設看護師・介護職員のあるべき姿とは

～LTC ネットワーク-N の現状と今後の展望について～

■ 実践報告③

阿部 久美子氏 日本認知症グループホーム協会 神奈川県支部研修部長

看護師の取説・介護士の取説「パーソンセンター」忘れていませんか？

～介護福祉士と看護師の立場から言えること～

■ フリーディスカッション

認知症の人の幸せって？
これから施設の施設ケア
看・護・介・護の視点から一緒に考えよう！



参加の
お申込み
はこちら
から



神奈川
オレンジ
ネット
ワーク



神奈川県
認知症
介護指導
者連絡会



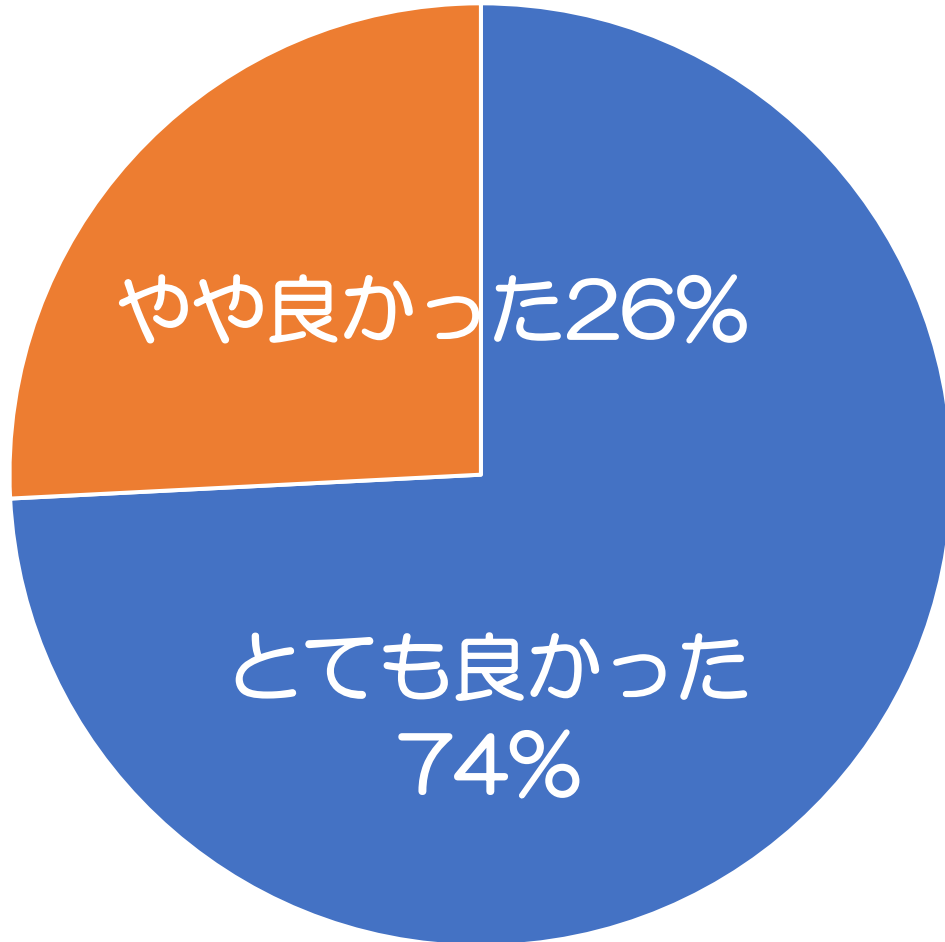
神奈川県
看護指導
者会

■ お問い合わせは各ホームページからお願いします

（介護保険施設に於ける）意思決定支援の活動④

～かながわLTCネットワーク：令和7年7月25日～

Q 本日の研修はいかがでしたか？（一部紹介）

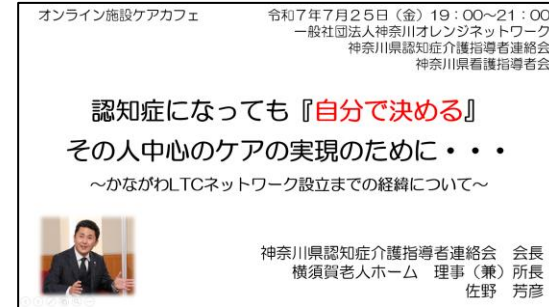


入所すると意思決定は、在宅に比べると少なくなる。意思決定の場を増やすことが大事と思った。

LTCの第一歩として期待できる内容だった。



参加者



（介護保険施設に於ける）意思決定支援の活動⑤

～かながわLTCネットワーク～

かながわLTCネットワークの参加者の声から、介護保険施設における「意思決定支援実現」のためには、施設間のネットワーク作り必要性であることを確認できた。



(介護保険施設に於ける)

意思決定支援の今後の方向性

これからの介護保険施設は
「問題解決型支援 (BPSDケア)」
から
「本人の思いから始める支援
(意思決定支援)」
へ視点を变えていく必要がある。

結語

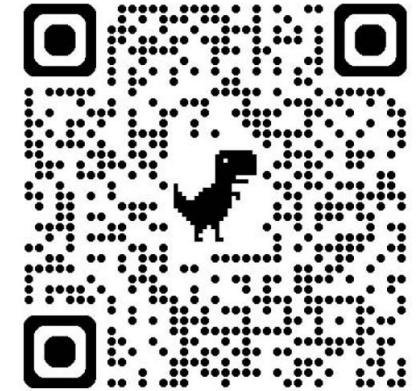
認知症と共に生きる人も自分の意思を持っています。意思がないのではなく、想いを形にするのが苦手なのかもしれません。

だからこそ、**その人を知ろうとする姿勢が大切**です。

私たちは、意思決定を支える大切なパートナーになりたいです。



かながわLTCネットワークの最新情報や本日の資料は、『神奈川県認知症介護指導者連絡会』のホームページにて公開させていただきます。



ご清聴ありがとうございました(^^) /



引用文献・参考資料

- 名川勝・水島俊彦・菊本圭一＝編著 日本相談員支援専門員協会＝編集協力 『事例で学ぶ 福祉専門職のための意思決定支援ガイドブック』 中央法規出版 2021年
- 認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン（第2版） 厚生労働省 令和7年3月
- 月刊ケアマネジメント 2023年9月号
- ご本人らしい生き方にたどり着く 意思決定支援のために 厚生労働省
- 高齢者福祉施設における認知症高齢者の意思決定支援に関する実践ガイド
浜松医科大学臨床看護学講座老年看護学 鈴木みずえ 金盛琢也 内藤智義 稲垣圭吾
- 編集 認知症介護実践研修テキスト編集委員会 「認知症介護実践標準テキスト～実践リーダー編～」 中央法規 2022年
- 認知症チームケア推進研修テキスト ～認知症の人のその人らしい暮らしのために～
2024年
- 「認知症の理解の変遷と施設ケア」 令和7年2月3日 講義資料 松浦 美知代
- 横須賀老人ホーム2年目研修 西原美保 現場実習資料
- イラストフリーホームページ

